

一人ひとりの夢・思いを大切に 福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

品福の取り組み紹介 特集2

- (一) らうんじ
- (二) 平成29年度 重点課題
- (三) サービス点検調整委員会の取り組み
苦情解決第三者委員会の取り組み
- (四) 接遇向上チェックシート紹介
高次脳機能障害者サポーター養成講座
- (五) ボランティア紹介 かえて荘(お達者村)
しなふくの給食(なぎさの家)
- (六) 豆知識/カフェ紹介/楽しいバザー五月祭りのご案内

中延複合施設前で、みんなでお花見！

らうんじ

平成二十九年度のスタートです。春は別れと出会いの季節でもあり、哀しみとときめきが混在する感じがあります。

春爛漫という言葉もありますが、個人的には四季の中でもっとも苦手な季節です。その理由は、ずばり「花粉症」のためです。

花粉症との付き合いは、かれこれ二十年近くになります。良く覚えていないので、実はもっと前からかもしれない。花粉症という文字を見ただけでも、くしゃみが出そうになります。昨今は、様々な治療法があり、「治る」可能性もあるようですが、時間と費用はかかるようです。

つつい情報に踊らされ、「あれが良い、これが良い」と聞いて、すぐに購入し試用したものも相当数ありますが、結局、大きな変化はなく、今年も、相変わらず、目のかゆみとくしゃみと鼻水に苦しんでいます。

上記写真のような「お花見」を楽しむ気分にはなかなかたえません。それはあくまでも個人的な事情です。皆さんはこの春爛漫を、思いっきり楽しんでください。

中延特別養護老人ホーム

施設長 市本 洋



いきいきとした実践報告、毎年2月恒例の
しなふく向上発表会も、今年10回目

特に今年度は、サービス提供の基本である「利用者の人

①法人本来の目的である 「利用者サービスの向上」

昨年度の事業活動を受けて、平成二十九年度は重点課題として、次の課題と新規事業に取り組みます。

社会福祉法人 品川総合福祉センター

平成二十九年度 重点課題

権、生活を守る」ことに主眼を置き、サービス点検、改善を進めます。

②新規事業

「大井三丁目高齢者憩いの場」
(愛称・大井三丁目ゆうプラザ)

「大井三丁目高齢者憩いの場」(愛称・大井三丁目ゆうプラザ)を開設し、多世代交流を進める街の小さな福祉拠点として、円滑な事業実施を進めます。

③福祉サービス利用率の向上

さらに多くの方に当法人のサービスを利用していただきたいとの願いから「福祉施設

サービス利用率の向上」を進めます。

④職員の人材育成と資質向上



質の高いサービスを提供していくために、良い人材を広く募集・採用育成していきます。法人職員全体が主体的に資質向上に努め、次世代を担う人材育成を進めます。

⑤事故防止の徹底

安全面では、利用者への服



園芸サークルの望月さん(かもめ園)
皆で大事に育てたカブの収穫です

葉ミス0(ゼロ)、職員の労災0(ゼロ)を目指します。
これらの課題は法人理念のさらなる具現化を進め、次世代を担う人材の育成を図るものです。今年度は特にこれらの課題解決に取り組み、社会福祉法人として持続性を確かなものにして参ります。

新任委員のご紹介



いちのせ しゅんきち
一瀬 俊吉委員

一之瀬委員は平成21年に地元密着の信用金庫をご退職後、荏原地区の民生委員となられ、担当地域の援助を要する住民の生活に関する相談に応じ、助言その他の支援をされています。

これから当法人のサービス点検調整委員会の中でご助言いただきます。

サービス点検調整委員会は、法人の福祉サービスを利用する方の、生活の質の向上を図ることを目的とした委員会です。

委員は六名で構成されています。選任の条件は、品川総合福祉センター職員でないこと。そして、当法人の障害者家族会、利用者自治会、民生委員協議会から推薦を受けた方および、地域の学識経験者の中から、法人の理事長が委嘱します。任期は一年で再任は妨げません。

委員の仕事の内容は、利用者が品川総合福祉センターの

利用者から苦情・意見・要望を聴き取り、関係施設長に文書にて報告をします。

報告を受けた施設長は改善経過及び結果を文書にて毎月開催される委員会で報告し、委員から助言を受けています。



福祉サービスを持ち良く受けていただくために、毎月委員が法人内の施設を訪問し、

サービス点検調整委員会

取り組み



新任委員のご紹介



くさかべ たかし
日下部 隆委員

日下部委員は昭和50年から品川区役所に勤務され、保健衛生、福祉事業部等を歴任、中でも障害者福祉課長の時には当法人との関係はこのほか深く、多方面でお世話になりました。この度は苦情解決第三者委員会の中でご指導いただきます。

品川総合福祉センターでは、利用者個々人の権利擁護とサービスの質の向上を図るため、各事業所に苦情解決委員会を設置しています。

法人の苦情解決の経過や対応について助言や評価をいただく場として、年二回苦情解決第三者委員会を開催し、弁護士・民生委員・利用者のご家族等、様々な立場の委員からご意見をいただいております。

職員とは違った視点での助言や評価は、毎回気付かされる事があります。昨年の委員会の中では、対応の手順とし

て「まず職員の話聞き、その上で利用者の話を聞くべきである」というご意見をいただきました。対応ばかりに目がいき、問題について職場全体で考える事を後回しにしてしまっていた事に気付くことができました。

今後も、利用者や地域の方からの貴重なご意見を、法人全体のサービス向上に繋げていきたいと思えます。



苦情解決第三者委員会

取り組み



接遇向上チェックシートの紹介

《その目的や活用について》



接遇向上チェックシートは、当法人のリーダー会（各部署のリーダーが集まり、法人全体の向上に取り組む会）の中から提案され、多くの議論を重ねて形を作り、平成二十七年より運用を開始しました。

その目的は、「チェックシートにより日々の接遇を振り返り、組織の活性化と法人の提供するサービスの質的向上に資すること」としています。

対象者は、当法人で働く全

表情・態度・対応	⑫職員同士で馴れ馴れしい話し方をしていますか。	○・△・×
	仕事仲間として意識し、お互いの意見をきちんと交わし、尊重していますか。	○・△・×
	仕事中に職員の名前をあだ名で呼び合うなど、砕けた言葉使いになっていませんか。	○・△・×
	⑬相手のペースに合わせて対応していますか。	○・△・×
	利用者をせかせかしたり無理に動かす等せず、相手のペースを守って対応していますか。	○・△・×
	⑭利用者の状況に合わせて対応していますか。（以下業務職員もチェックして下さい）	○・△・×
	利用者の心身の状況把握に努めていますか。	○・△・×
	利用者の日々の状況に合わせて、臨機応変に対応していますか。	○・△・×
	⑮利用者の心に寄り添い、支援を行っていますか。	○・△・×
	利用者の気持ちを察する努力をしていますか。	○・△・×
	利用者の気持ちに共感する姿勢を持って支援していますか。	○・△・×
	⑯ひとりひとりの人格を尊重し、思いを汲み取っていますか。	○・△・×
	障害や病状を持っても、偏見を持たずに接していますか。	○・△・×
	利用者がうまく表現できない気持ちやサインを見逃さずにくみ取れるように努力していますか。	○・△・×
	⑰利用者が出来ることを助けることなく支援していますか。	○・△・×
	利用者のできること・出来ないことを把握し、できる力を伸ばしたり、維持出来るように心がけて支援していますか。	○・△・×

接遇向上チェックシートの一例

職員（常勤・契約・非常勤）です。

全職員が、共通の接遇ルールに沿って、「①法人が求める職員像を正しく理解し、実践できるようにする。②社会人としての基本姿勢を向上させる。」ことを常に意識して行動し、サービスの質の向上と法人の活性化のための自分に振り返り、成長していくためのツールとして活用していきます。接遇向上チェックシートは、「①職員マナー②接遇③電話対応」の三つの項目に分けられ、さらに各項目の中に、具体的な、あるべき姿が確認出来る設問があり、自己チェックができるものになっています。

今後もチェックシートを活用し、全職員が一丸となって、サービスの質的向上に努めたいと思います。

高次脳機能障害者サポーター養成講座

品川区障害者地域活動支援センター「逢」

高次脳機能障害は、脳卒中や脳外傷の後、もの忘れや、状況に合わせた判断がしにくく等の状態のことを指します。身体の不便さとは異なり見た目では理解されにくく、「覚える努力が足りない」「話が簡潔でない」などの誤解を受けることもあります。

心身障害者福祉会館の地域活動支援センターでは、「高次脳機能障害者サポーター養成講座」を、平成二十九年一月～二月で五回にわたって開催し、十一名の受講者が集ま



わかりやすい説明に聞き入ります

りました。

訓練センター作業療法士の石岡先生の講義のほか、訓練センターの見学と、生活支援について情報提供を行いました。また高次脳機能障害者のデイケアも行なっている「荏原中延クリニック」を見学させていただいたり、「品川区高次脳機能障害者と家族の会」からは、活動報告と、当事者お二人の方の体験談や希望する支援の形などを伺うことができました。（まずは「お手伝いが必要ですか？」と声をかけてほしいそうです）

会館内外の協力を得て実現した今回の講座で、障害を持つ方々が「当たり前前に暮らす」ことを、地域として応援する気持ち広がって、いることを実感しました。





ボランティア紹介 かえで荘 【お達者村】

特別養護老人ホームかえで荘では、多くのボランティアさんが活動を続けてくださっています。



長瀬さん(左) 鈴木さん
いつもありがとうございます

その中でも、「お達者村サークル」というサークルで活動してくださっているのが、鈴木さんと長瀬さんです。
「楽しみにしているのよ」と利用者さんに言われて、うれしかったとへ笑顔の鈴木さん
「長く続けていけばいいなあ」とおっしゃってくださいました



紙芝居舞台を使って
お話しが始まります

〈安心感の長瀬さん〉
最初は数人で活動をされていたようですが、現在は二名で、月一回の活動になりました。
「体力的にはこのペースがいい」とお休みなく、活動を続けてくださっています。
朗読もさることながら、心地よい空間も意識してくださっているとのことでした。
また、利用者が楽しんでもらえるように「以前やっていったパネルシアターをやってもいいですね」と、意欲的に活動を続けてくださっています。
これからも無理なく続けていただけるよう応援していきます。今後ともよろしく願います。

しなふくの給食

くなぎさの家

「彩・楽・健」



中央公園でのお花見弁当

知的障害者グループホーム「鮫洲なぎさの家」は、平成二十三年四月「福祉工場しながわ」建て替えの際、三階に以前のグループホーム「朝やけ」から移転し、定員が四名から六名に増員されました。
鮫洲公園に隣接され住環境も良く、ゆつたりとしたスペースになっています。
グループホームの役割は、自立生活の場として第二の家庭と考え、食事管理、健康管理、生活リズムの確立、集団生活の楽しさ等をサポートしながら伝えて行きます。



ある日の夕食
レストラン風

そんな生活の中で、やはり「食」は、皆様が一番楽しみにしているところです。提供は朝と晩ですが、栄養バランスや季節感のある物の他、「美味しいう」と思えるよう盛り付けには特に気をつけ、目で楽しむことも大事にしています。
また、グループホームでの食事だけではなく、月二回外食日を設け、好みのメニューを自分で注文して頂くのが、大人気です。ドライブがてら、夜景を見ながら東京タワーでの夕食は一番人気。近々では、お花見&豪華弁当もお楽しみの定番です。



桜

日本人が愛してやまない花、桜について調べてみました。

桜はバラ科の植物で、桜の語源は「咲く」に複数を意味する「ら」を加えたものときれ、元来、花の密生する植物全体を指したものだそうです。「古事記」に登場する桜の霊でもある木花咲耶姫の「さくや」が語源とも言われています。

桜の花言葉は「優れた美人」「純潔」「精神美」だそうです。また、「偽客・まわし物をサクラ」と言う理由はパツと派手にやっつてパツと消えるからだそうです。

桜と言えばソメイヨシノといっても過言ではありませんが、気象庁が発表する桜の開花予報も東京では、靖国神社のソメイヨシノに五く六輪咲けば開花宣言となります。ソメイヨシノは江戸時代の

豆知識

末期に、江戸染井村（現在の東京都豊島区）の植木屋が吉野桜として売り出したのが始まりだそうで、繁殖が簡単で花つきも良かったため全国的に広がったのだそうです。

また、川辺に桜が多く植えられている理由は、堤防の地盤を固めるためだそう。うで、桜を植えて見物客を増やし、そこを歩かせることを想定してのことだったようです。ところで、日本三大桜をご存知ですか？

山梨県北巨摩郡武川村の樹齢二千年以上の「山高神代桜」と岐阜県本巣市の樹齢千五百年以上の根尾谷淡墨桜、そして、福島県田村春町の樹齢千年以上の三春滝桜で、いずれも天然記念物となっています。



「クロバーカフェ」紹介

今回ご紹介するのは、毎月第一日曜日に本部ロビーで開催されている「クロバーカフェ」。

傾聴ボランティア“クロバーの会”の皆さんが、喫茶コーナーを設け、お話し相手になってくださる居心地の良いカフェです。かえで荘やかもめ園の利用者が、かわるがわる顔を出され、お話＆喫茶を楽しんだ後は「すっきりした」「安心した」と和やかな笑顔になります。



ゆったりした雰囲気の中で、利用者一人ひとりの心の声に耳を傾けてくださる会の皆さんには、センター職員一同感謝しております。

楽しいバザー 五月祭りのご案内

第三十三回「楽しいバザー 五月祭り」を開催します

○日時…五月二十八日（日）十時半～十四時半

○場所…（社福）品川総合福祉センター本部（八潮五ー）
ご家庭でお使いにならない新品の品物がございましたらご寄付をお願いいたします。（電化製品・家具はお受けできません。）

※「楽しいバザー 五月祭り」の開催は今回が最後になります。来年度以降は、法人のお祭りは、開催時期・内容を変更し、年一回の開催となります。

あ・と・が・き
若葉の色映える時期を迎え、心若やぐ季節となりました。新年度を迎え、新しい仲間も加わり、より一層利用者の方の支援に邁進していきます。今年度も宜しくお願い致します。
(三日月)